

ワーク② アピール練習帳

氏 名	取り組んだ日
-----	--------

自分をアピールするケースとして、①口頭で行う場合（面接など）、②文章で行う場合（履歴書、作文など）があります。緊張してもうまくアピールできるよう、文章にまとめておくとよいでしょう。

アピールするといっても、「私はねばり強いです」というアピールだけでは、どれくらいねばり強いのかということが相手には伝わりません。自分をアピールするときには、具体的なエピソードなどを交えると相手に伝わりやすくなります。たとえば、下の例文のように、エピソードの有無によってアピールしたいことの伝わりやすさや説得力はかなり違ってくることが理解できると思います。

〈エピソードがないアピール〉	〈エピソードがあるアピール〉
<p>私はねばり強く物事に取り組むことができます。誰よりも負けず嫌いであり、困難なことがあっても、最後まであきらめることはありません。どんなことでも高い目的意識をもちながら取り組んでいくのが私の長所です。</p>	<p>ねばり強く取り組むことが私の長所です。国際社会で活躍するという目的ができたときから毎日1時間は英語の勉強を続け、英語検定1級を取得しました。目標を決めたら、その達成まで努力を続けることができます。</p>

ここでは、いくつかの手順に従って、200字程度で自分をアピールする練習をしていきます。就職したい会社や入学したい学校に自己アピール文を提出することを想定しながら取り組んでみましょう。

手順① このワークシート以外に、GETの結果表を用意してください。

手順② GETで示された8つの性格の中から、自分でアピールしたいと思うものを1つ選び、GETで判定された段階であてはまるもののに印をつけましょう。

（例：誠実性 「高い」に印）

選んだ性格	<input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 平均的 <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 高い
-------	---

手順③ 選んだ性格をよく表しているような具体的な事実を書きましょう。

(例：英語検定 1 級をとるまで努力を続けた)

具体的な事実	
--------	--

手順④ 手順③の具体的な事実に至ったきっかけ・動機を書きましょう。

(例：国際社会で活躍したい)

きっかけ・動機	
---------	--

手順⑤ 手順③の具体的な事実を裏づけるようなエピソードを書きましょう。

(例：毎日 1 時間は勉強に取り組んだ)

エピソード	
-------	--

手順⑥ 具体的な事実、きっかけ・動機、エピソードを交えながら、200 字程度で自分をアピールする文章を書きましょう。

--

手順⑦ 手順⑥で書いたアピール文を読み直し、下記のポイントについて自己評価をして、あてはまるものの□に印をつけましょう。または、自己評価ではなく、あなたのまわりの人に評価してもらってもかまいません。

	たいへん よく できました	よく できました	がんばりました	もう少し がんばり ましょう
誤字や脱字がなく、 ていねいに 書いているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
わかりやすく まとめているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エピソードを 効果的に 用いているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アピールが相手に しっかりと伝わる 文章であるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>